

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	ピタゴラボ城東		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員同士で良好な協力関係・信頼関係があり、報告・連絡・相談が行いやすく風通しの良い環境である。活動的な職員が多く、事業所内が活気で溢れている。	児童のことでなく、ヒヤリハットや再発防止策、虐待研修等の様々な研修内容をすぐに共有・報告し、すぐに実践できる体制を作っている。	朝礼時や週末会議以外でも意見を出しあえる場を設定し、共有や連携を増やしてチームをさらに強化して支援の質を高めていく。
2	運動や学習面など様々な支援を行っており、児童や保護者様の満足度も高くなっている。	朝礼時や週末会議等で児童の様子を綿密に報告・共有しており、利用者それぞれの特性に配慮した支援が実践できるような体制を作っている。	その日利用する児童の目標を朝礼時に確認したり、一人ひとりの支援計画案に記載されている内容を定期的に確認したりして、より満足のいただける支援を提供できるようにしていく。
3	放課後等デイサービスの利用契約者数が多いため、利用者それぞれが近い目線でコミュニケーションを活発に取ることができている。社会性を育むという観点で強みがある。	土日祝日のイベントを欠かさずおこない、児童同士での交流が生まれるようにグループを組むなどの工夫したり、配慮した声掛けをしたりしている。	児童発達支援の利用者が同じ空間にいることを活用し、年下の子を思いやりたりできる場を設定する。土日祝のイベントだけではなく、平日の活動時にもレクリエーションなどを用意して学齢の垣根をこえてコミュニケーションが活発になるような施設づくりを行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個室がなく、児童が落ち着けるスペースや学習面の支援で学習室を使用することがあるが、学習室での支援を行うと支援室での支援が手薄になってしまう。	施設内の構造上、支援室と学習室の両方を見渡すことが難しくなっている。	支援室でもストレスなく落ち着けたり学習が出来たりするよう環境整備を行い、より全体を見渡しやすいようにしていく。
2	送迎業務の兼ね合いで14時頃から施設内の職員数が減り、各利用者に満足していただける支援を行えているかどうか不安なことがある。	送迎業務を行える職員数は増えているが、特に平日の送迎スケジュールがタイトになってしまう。	送迎スケジュールを組み直したり送迎ルートを変更したりして送迎業務の見直しを行う。
3	遊具に飽きがでてしまい、遊具の扱いが悪くなってしまっている。	使える遊具が常に同じである。また遊具の使い方のルールが曖昧なところがある。	遊具の使用時のルールを明確化する。表やイラスト等、視覚的なツールも用いてルールを徹底していく。週によって使える遊具を変えていくことで遊具に特別感を持たせる。定期的に新しい遊具を購入していく。

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名	ピタゴラポ城東					公表日	2026年3月1日				
					利用児童数	34		回収数	14		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応				
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	3	0	0	走り回れるほど広くていいと思います。	ご意見ありがとうございます。引き続き、お子様が伸び伸びと過ごせる環境を提供させていただきます。			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13	0	0	1					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	0	0	0					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	13	1	0	0					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	1	0	0					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12	0	0	2					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14	0	0	0					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	0	0	1					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	2	0	1					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	0	0	0	いろんな取り組みを考えてくれていると思います。	ご意見ありがとうございます。引き続き、様々なプログラムを立案して活動が固定化されないようにしてまいります。			
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	2	3	5					
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14	0	0	0					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	0	0	0					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	3	3	5					
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	14	0	0	0					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	1	1	0					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	1	0	0					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	5	3	1	5					
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	0	1	1					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	2	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	1	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	1	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	0	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	1	0	2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	0	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13	1	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	2	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	0	0	0		

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		ピタゴラポ城東		公表日		2026年3月1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	0	スペースが狭いときは職員により適切な距離を取る様にしている		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	5	送迎の時間やメンバーを調整しているので以前より中の見守りがしやすくなっている	児童の特性によっては、職員が足りないと感じるときがある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	0		部屋の中央の柱が死角となり、全体を見渡せない。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	3		キズや汚れが目立つ環境となっている。 物の整理がよくできておらず、無くし物が増えることがある。 壁がはがれているため修復したい。 壁の塗装のはがれが気になる	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	6	個室がないため、せまめのスペースに誘導してクールダウンなどをおこなうことをしている。 クールダウン、宿題をする際に学習室を利用している。 宿題を別の場所でしたい子どもたちに学習室を使っている	完全な個室空間がないため対応しきれないときがある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	3	定期的に職員で会議を行って振り返りを行っている。 各自努力はしている。 週礼や月末会議で職員間で振り返り時間を設けている。 朝礼や週礼で振り返ることはできている。	完璧ではない。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	2	保護者向けの評価アンケートを実施し、意向の把握をはかっている。 2,3ヶ月に1回親子イベントを行っている		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	週礼や面談を定期的に行うことで業務改善につながっている。 定期的な面談を行えている。 定期的な面談や会議を実施している。 人間関係が良く、意見を伝えやすい。 週礼でそういう場はつくれている。2ヶ月に1回で面談がある。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	5	保護者様にアンケートなども行っている		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	職員全体が社内研修に参加している。 研修案内、グループ内での店舗交換研修を実施している。 職員全体が参加する研修に加え、任意で参加できる研修の案内もある。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0	モニタリングの議事録、個別支援計画書に目を通し、振り返りを行えている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	1	支援計画書、アセスメントの周知をていねいに行っている最中で、継続していき「はい」にする。 担当者会議でモニタリングの議事録や個別支援計画書に目を通している。	定期的に支援計画を目にする機会を作った方が良い	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	0			

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0	週末イベントの内容などを全員で考えている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	1	毎月様々な分野のイベントを行っている。新しいあそびや興味を引き出す声かけを積極的に行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10	0	職員間で状況を共有する場が設けられている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	1	支援の方針を相談して決定している。朝礼にメモの確認、メンバー確認等を行っているイベント時、朝に職員たちと情報共有し円滑にチームで支援を行っている専門職員を中心に活動を割り振っている日がある。	朝礼時に利用者の共有をもう少し増やした方が良いように感じる 役割分担まで行き届いていない印象がある
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	6	週単位で行うことはできている 重要な案件は取り急ぎ共有している。	週単位で振り返りを行っているため、毎日ではできていない。毎日の実施はできていない。必ずしも行っているわけではない。綿密な共有がされていない
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	1	何かのトラブルがあればリタリコのメモに追加したり朝礼・週礼にて共有している。トイレが自分でできない子どもにはしっかりと記録をとりトイレ等を実施し、支援の検証をしている。	記録が抜けていることが時折ある
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0	半年に1度のモニタリングが行えている。全員でふりかえり行ない、見直しをしている。定期的にモニタリングを行い職員や保護者様へのいけんや出きる事、目標などを決めて適切な支援を行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9	1		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	0	子どもに合わせた対応を意識して、それぞれ取り組んでいる。自分自身のやるべきこと、施設の活動など、自己決定することができるように関わっている。だいたい職員が判断できていると思う。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	1		あまり連携が取れていないように思う
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	0	保育所への訪問や相談支援員と連携し支援につなげている。保育所訪問や発達検査結果を共有してもらっている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	1	年間計画や下校時間などは保護者様から教えていただくことが多いが、送迎時やトラブル時の連絡は学校との間で行っている。送迎時の連絡は常にすばやく行っている。	保護者を通して情報を得ているため、直接学校と連絡を取ることが少なく、情報不足などがある。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	5	一部の利用者にはおこなっている。モニタリング資料を見た際に、小学校や家庭での様子はわかる。	全員はできていない。就学前の様子に関する情報は不明瞭なことがある。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	3		そこに該当する利用者がいない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	6		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	10	系列施設との取り組みは実施している。	地域交流等は少ない施設以外の児童と一緒に活動する機会がない。事業所内での関わりにとどまっているように見える会社外での他事業所との関わりはうすい。なし
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	2	8		そういった協議会の機会が少ない地域への参加などの機会が少ない。他と関わる機会がない。保護者からのニーズもなく、外部と関わることを優先と感じていない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	送迎時やリトム・LINE等で現在の状況をお伝えできている送迎時に共有出来ている送迎時に必ず共有している。日々の共有をしている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	4	定期的に親子イベントを行っている	送迎時に共有出来ている研修まではできていない。研修は実施できていない。家族研修の案内がされていないと感じる	

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	1	契約時、モニタリング時に説明をおこなっている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	2	送迎時などで保護者の様子も聞き取ることができている。 送迎時や親子イベント、モニタリング等で支援は行っている。 モニタリングの際と送迎時にしているイメージ	モニタリング以外にそのような機会はない
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	4	親子イベントを通して、家庭での様子や保護者が抱えている困り事等を聞く機会が設けられている。 保護者同伴イベントを定期的を実施している。 親子イベントがある。 2,3ヶ月に1回親子イベントを行っている	父母の会等、保護者同士が顔を合わせる機会を必要と感じていない。保護者様からのニーズもない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	すぐに対応し、改善策を検討している。 苦情・相談を受けた時はすぐに対応し、ファイリングし、再発防止に努めている。 苦情があった場合は保護者様に再発防止・対策をお伝えしたり、職員間で共有している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	1	インスタグラムを運用し、情報を発信している。 定期的にブログやインスタグラムを更新し、情報発信している。 LINEやインスタで行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0	鍵付きの書庫に入れて厳重に保管している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0	言葉以外でのコミュニケーションも取れている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	9		地域交流は少ないため、外出イベントで交流の機会を増やしたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0	定期的に訓練や研修を行い、職員間で周知している。 職員間でロールプレイを行ったり、児童と避難訓練を定期的に行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	1	避難訓練を実施している	災害時の対応訓練の機会を増やしたらよい 避難訓練の頻度が少ないように思える。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	0	都度職員間で共有している。 てんかん等の研修を行なっている。	てんかん、発作の対応訓練の機会を増やして欲しい 職員が見たらすぐわかりやすい表などの作成をしてほしい
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	0	アレルギーのある利用者がいる時は提供するおやつ等に留意している。 職員間で共有している。 イベント時のおやつ提供時はしっかり保護者様に確認を行っている。	見たらすぐわかるアレルギー表みたいなのがほしい
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	会議場でヒヤリハットを共有できている。 検討後実施して再発防止に努めている。 朝礼や退社で共有できている ヒヤリハットは日々置いている。 その日に職員に共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10	0			